



上智大学イベロアメリカ研究所

2015年度活動報告

(2015年4月～2016年3月)

No. 23 (2016年5月)

§ 研究会

◆ 研究所共同研究「トランスボーダー・ラテンアメリカン・スタディーズ」

研究代表者：幡谷則子

共同研究者：Nilta DIAS、Nina HASEGAWA、岸川毅、水谷裕佳、Mauro NEVES、田村梨花、Helena TOIDA、
内村俊太、矢澤達宏、吉川恵美子、箕輪茂

海外出張： 岸川毅 (パナマ、3月5日～14日)

◆ 南山大学ラテンアメリカ研究センターとの共同研究 「イメージの中の日本とラテンアメリカ研究」

研究会

第2回 7月11日 ◆ 長谷川ニナ (上智大学) 「José Guadalupe Posada a 100 años de su muerte」

第3回 11月2日 ◆ 佐藤貴大 (南山大学) 「『ラテンアメリカ』概念の形成についての一考察」

◆ 大場樹精 (上智大学) 「『人権先進国家』への転換を図るアルゼンチン」

◆ 桜井三枝子 (南山大学) 「2つのイメージを探る、グアテマラ、ツトゥヒル・マヤの復活祭事例から」

◆ 真鍋周三 (南山大学) 「植民地時代後期ペルー・モケグア地域産アグアルディエンテ (ぶどう酒の蒸留酒) の流通をめぐって—ブルボン改革との関係で—」

◆ 幡谷則子 (上智大学) 「和平合意後のコロンビア社会の課題」

◆ 加藤隆浩 (南山大学) 「20世紀初頭ペルーにおける日本人」

◆ 谷洋之 (上智大学) 「北米としてのメキシコ研究に向けて」

◆ ランチタイム・フリートーク

第63回 4月22日 内村俊太「スペイン王権による歴史表象としてのインカ像」

第64回 5月13日 岸川毅「19世紀メキシコの選挙」

第65回 6月24日 Helena TOIDA「ブラジルの児童文学」

第66回 7月15日 Armando AZÚA「La Embajada Keicho-Hasekura y su paso por México / Nueva España」

第67回 10月21日 Nilta, DIAS「Crianças no candomblé」

第68回 11月26日 藤井嘉祥「DR-CAFTA 期グアテマラの労働問題」

第69回 1月28日 増山久美「観光と開発—メキシコ、カンクン」

§ 講演会

◆ 4月15日 “Trilhas da conquista dos direitos de crianças e adolescentes no Brasil e a perspectiva da solidariedade e a cooperação entre países sem fronteiras”

(「ブラジルにおける子どもの権利獲得の道のりと国境を超える連帯と協力の展望」)

Irene RIZZINI (リオデジャネイロ・カトリック大学教授)

(後援: 上智大学外国語学部ポルトガル語学科)

- ◆ 5月26日 “Social Sector Overview of Latin America: Trends and Challenges, and the Role of the IDB”
「ラテンアメリカにおける社会開発—動向と課題、米州開発銀行の役割—」
Héctor SALAZAR (米州開発銀行社会開発局長)
〈協力: IDB, JICA〉
- ◆ 6月4日 “Una comparación de las distintas negociaciones de paz en Colombia desde 1982 en adelante”
（「コロンビアにおける和編交渉分析—1982年以降の政権別考察—」）
Carlo NASI (ロス・アンデス大学准教授)
〈協力: コロンビア大使館、日本コロンビア友好協会〉
- ◆ 6月10日 “Hacia un futuro sin guerra -la voz del pueblo indígena en Colombia: "la sabiduría para vivir y nuestra tierra"”
（「紛争なき未来へ—南米コロンビア 先住民の声—『生きるための知恵と私たちの故郷』」）
José MELO CHINGAL (コロンビア、ナリーニョ県先住民族アワ族リーダー)
〈共催: グローバル・コンサーン研究所〉
〈協力: コロンビアスピーキングツアー2015 実行委員会〉
- ◆ 11月4日 “Conferencia especial”
（「特別講演」）
Tabaré VÁZQUEZ (ウルグアイ大統領)
〈主催: 上智大学、ウルグアイ大使館〉
〈協力: イベロアメリカ研究所〉
- ◆ 11月5日 “Pintar la Amazonía”
（「アマゾン熱帯雨林を描く」）
Ramón PIAGUAJE (エクアドル・セコヤ族アーティスト)
〈協力: エクアドル大使館〉
- ◆ 12月18日 “Global and Brazilian Approaches of the Solidarity Enterprises”
（「ブラジルおよび世界で展開する連帯企業の実践と制度化—その分析モデルの構築をめざして—」）
Luiz Inácio GERMANY GAIGER (ヴァーレ・ド・リオ・ドス・シノス教授)
〈後援: 『ラテンアメリカの連帯経済研究会』、
上智大学グローバル・コンサーン研究所〉
- ◆ 1月10日 “Beyond Influence: The Study of Latin American Colonial Painting in the 21st Century”
（「『影響』論をこえて—21世紀におけるラテンアメリカ植民地絵画研究—」）
Luisa Elena ALCALÁ (マドリッド自治大学准教授)
〈共催: スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会〉
- ◆ 1月13日 「日本とブラジル—外交関係120年の足跡をたどる—」
子安昭子（上智大学教授）、二宮正人（サンパウロ大学教授）
アレシャンドレ・ウエハラ（リオブランコ大学教授）、堀坂浩太郎（上智大学名誉教授）
司会: マウロ・ネーヴェス（上智大学教授）
〈共催: 外国語学部ポルトガル語学科〉

§ 公開講座「ラテンアメリカ・レクチャーシリーズ」

第1回「ラテンアメリカ—域内から域外の世界へ—企業、経済、ヒトの『トランスボーダー・ダイナミクス』」

- ◆ 7月2日 「ラテンアメリカ生まれの多国籍企業・Trans-Latinsの動静」 堀坂浩太郎（名誉所員）
- ◆ 7月9日 「アジア太平洋時代のメキシコ：多面的な国際経済環境」 谷洋之
- ◆ 7月16日 「米国メキシコ国境越境者への支援：米国市民による取り組み」 水谷裕佳

第2回「歴史のなかのラテンアメリカ像—立場によって異なるイメージとその背後にある力学—」

- ◆ 10月15日 「スペイン帝国の歴史書のなかのインカ：16世紀後半を中心として」 内村俊太
- ◆ 10月22日 「黒人運動家にとってのブラジル—20世紀前半の黒人新聞を中心に—」 矢澤達宏

§ シンポジウム

- ◆ 6月22日 「ポストネオリベラル期のラテンアメリカ政治—現状と課題—」
プログラム
開会の挨拶／幡谷則子（イベロアメリカ研究所長）
原正一郎（京都大学地域研究統合情報センター長）
趣旨説明「今世紀のラテンアメリカ政治—ネオリベラリズム期以降の政党政治を中心に—」村上勇介（京都大学地域研究統合情報センター）
- 第1部 安定的な政党政治とその課題**
「近年のブラジル政治における二大政党化への収斂と『幸運な自由化』の反転」／舛方周一郎（神田外語大学外国語学部）
「三大政党制の融解？—近年のメキシコ政治にみる PRD の危機と左派再編の可能性—」／馬場香織（日本貿易振興機構アジア経済研究所）
「形骸化の進むチリの民主主義—硬直した政党政治と投票率の低下—」／安井伸（慶應義塾大学商学部）
- 第2部 格差や紛争に直面する民主主義**
「ポストネオリベラリズム期のコロンビアにおける政治の不安定化—国内紛争と和平プロセスの視点から—」／千代勇一（準所員）
「チャベスなきチャベスモ—権威主義化を強めるベネズエラ・マドゥロ政権—」／坂口安紀（日本貿易振興機構アジア経済研究所）
「小党分裂化するペルー政治」／村上勇介
コメント・討論
コメント／岡本正明（京都大学東南アジア研究所）、幡谷則子
討論
閉会の挨拶／村上勇介
- ◆ 11月25日 「中米・日本外交樹立 80 周年記念シンポジウム
『中米と日本—グローバル化時代の課題と展望—』」
プログラム
開会の挨拶／幡谷則子
- 第1部**
“Centroamérica y Japón: desafíos y logros de la cooperación para el desarrollo”／細野昭雄（JICA 研究所）
討論／狐崎知己（専修大学）
「アジア太平洋時代の中米・日本関係」／加賀美充洋（帝京大学）
討論／尾尻希和（東京女子大学）
- 第2部 コメント**
・サウル・アラナ・カステジョン（ニカラグア大使）
・マルレーネ・ビジェラ・デ・タルボット（ホンジュラス大使）
・マルタ・リディア・セラヤンディア（エルサルバドル大使）
・ラウラ・マリア・エスキベル（コスタリカ大使）
・アンヘラ・マリア・チャベス（グアテマラ大使）
質疑応答
閉会
- [Sophia Open Research Weeks 2015 企画／外務省 日・中米交流年記念事業]

§ 出版物

- ◆ 『2014 年度活動報告』 No. 22
- ◆ *Boletín Informativo*, No. LX
- ◆ 岩崎 絢子 『チャベス政権の参加型民主主義の実態と課題—ベネズエラにおける地域住民委員会の分析を通して—』 (ラテンアメリカ研究 ILA No.41 (ISBN: 978-4-904704-15-8))
 - 序章
 - 第 I 章 二大政党への不信と急進左派政権の誕生
 - 第 II 章 参加型民主主義と地域住民委員会
 - 第 III 章 地域住民委員会の実態と近年の変貌
 - 終章
 - 参考文献
 - 要約 (スペイン語)
- ◆ *Encontros Lusófonos* (ISSN: 1346-5058), No.16
 - 講演会
 - ワンダー・リオ：ブラジル都市貧困地域の市民教育プログラムの活動から／バレリア・ロバト・ギマランエス、マリアーナ・ピント・ヒベイロ
 - 論文
 - 「セルタネージュ」の浸透—ブラジルにおけるポピュラー音楽化の分析／朝倉大
 - 現地レポート
 - 地域社会による教育構築—サンパウロ・エリオポリスの試みから—／田村梨花
 - 書評
 - Margolis, Maxine L. *Goodbye Brazil: Émigrés form the Land of Soccer and Samba* (Wisconsin, The University of Wisconsin Press, 2013)／拝野寿美子
 - 編集後記
- ◆ 『イベロアメリカ研究』 (ISSN: 0388-1237)
 - ・第 XXXVII 卷第 1 号 (2015 年度前期)
 - 講演
 - Ismael Arturo MONTERO GARCÍA “El sello de Sol en Chichén Itzá”
 - 論文
 - 箕輪茂「メキシコ、ヌエボ・レオン州における応答性の変容—治安対策を事例として—」
 - 研究ノート
 - 上原なつき「タワンティンスーユの音—超自然的存在とのコミュニケーション—」
 - 書評
 - 相田豊「兒島峰著『アンデスの都市祭礼—口承・無形文化遺産「オルロのカーニバル」の学際的研究』(明石書店、2014 年) 392p.」
 - 資料
 - ラテンアメリカ日誌—2014 年—
 - 日本・ラテンアメリカ関係日誌—2014 年—
 - 研究所ニュース
 - 活動日誌
 - 出版物リスト
 - 編集後記
 - ・第 XXXVII 卷第 2 号 (2015 年度後期)
 - 講演
 - Carlo NASI “Las negociaciones de paz en Colombia de 1982 a 2015: un balance ”

講演と解説

Violeta LUNA “El cuerpo en acción: cartografías para un performance con compromiso social(el cuerpo como sitio de expresión y principal soporte de la obra creativa y del activismo)”

吉川恵美子「ラテンアメリカのパフォーマンス考—パフォーマンスの概念理解にむけてのひとつの試論として—」

現地報告

大場樹精「アルゼンチンにおける「多様化」の現状—認められるものと認められないもの—」

書評

藤田護「清水透『ラテンアメリカ—歴史のトルソー—』立教大学ラテンアメリカ研究所、2015年、220p.」

資料

ラテンアメリカ関係日誌—2015年1月～6月—

研究所ニュース

活動日誌

出版物リスト

編集後記

§ 来訪者

5月12日 Sergio VALENZUELA (チリ) 駐日大使館参事官

§ 図書室

蔵書数：39,340冊（和書4,416冊、洋書34,924冊）

受入継続雑誌：79点、うち洋雑誌61点

購入図書：214冊（和書52冊、洋書162冊）

受贈図書：51冊（和書15冊、洋書36冊）

§ 人事

◆ 正所員

2015年4月1日付で Nilta DIAS 助教（外国語学部ポルトガル語学科、専門：教育学）が正所員に任命された。

◆ 客員所員 大越翼（任期4月1日～3月31日）

◆ 共同研究所員 箕輪茂（任期4月1日～3月31日）

◆ 準所員 藤井嘉祥、増山久美、村瀬幸代、齋藤亜子、千代勇一（任期4月1日～3月31日）

§ その他のラテンアメリカに関する所員業績（ABC順）

◆ DIAS, Nilta

| | | |
|----------|------|--|
| 7月 | 論文 | “Dekasseguês: um português diferente? Variações linguísticas e interculturalidade nas migrações contemporâneas dentro do sistema-mundo moderno”, <i>Horizontes decoloniales</i> , V.1, No.1, 2015, pp.62-101. |
| 8月2日～15日 | 現地調査 | ブラジル。 |
| 8月6日 | 学会発表 | “Lésbicas brasileiras no Japão: Identidade e espiritualidade”, em IV Latin American Congress on Gender and Religion(Faculdades EST, São Leopoldo). |
| 12月30日 | 共著 | 「ブラジルの思い出—子ども時代に遊んだおもちゃたち—」(60-66 ページ)、「フェスタ・ジュニーナ(6月の祭り)—伝統と交流—」(131-138 ページ)、「ブラジルの宗教—その多様な世界—」(139-153 ページ)、「教育—日本の学校で学ぶブラジル人の子どもたち—」(160-166 ページ)、「ブラジルの料理の奥深さ—色、香り、味—」(318-327 ページ)、上智大学外国語学部ポルトガル語学科編『ポルトガル語圏世界への50のとびら』、SUP 上智大学出版 (ISBN: 9784324100165)。 |

| | | |
|----|----|---|
| 3月 | 書評 | “El desafío del diálogo: historia, definiciones y problemáticas del ecumenismo y la pluralidad religiosa”, en <i>Religión e Incidencia Pública</i> , No 3, 2015, pp. 115-119. |
|----|----|---|

◆HASEGAWA, Nina

| | | |
|--------|-------|--|
| 5月30日 | 学会発表 | 「大衆向け印刷工房バネガス＝アロージョ社の戯曲に見る上流階層の腐敗と検閲」、日本ラテンアメリカ学会第36回定期大会(於 専修大学)。 |
| 11月11日 | 字幕上映会 | グアテマラのドキュメンタリー映画「Granito how to nail a dictator (グラニート・独裁者に爪をかける)」の日本語字幕を製作。Sophia Open Research Weeks 2015 企画として上映会を実施。 |
| 3月9日 | 論文 | “Los impresos de Vanegas Arroyo y la gente humilde de la capital” 『上智大学外国語学部紀要』 No. 50, pp. 157-199. |

◆幡谷 則子

| | | |
|----------------|-----------------|--|
| 4月1日 ～3月31日 | 共同研究 (研究代表者) | 「コモン・グッドを迫及する連帯経済—ラテンアメリカからの提言」、文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(B))、研究課題番号25283010、2013/4/1～2017/3/31(予定) |
| 5月30日 | 学会報告 | パネル “Solidarity Economy in Latin America: Its institutionalization process and further challenge in search for an alternative economic system”のコーディネータおよび趣旨説明、日本ラテンアメリカ学会第36回定期大会(於 専修大学)。 |
| 6月2日 | 講演解説と 通訳 | 「コロンビアの大統領選挙(2014)と和平交渉の行方」(ロス・アンデス大学政治学科カルロ・ナシ准教授講演)の解説と通訳(於 愛知県立大学)。 |
| 8月8日～ 9月13日 | 出張・現地 調査 | 科研プロジェクト「ラテンアメリカの連帯経済」におけるコロンビアの協同組合および連帯農業アソシエーションの事例調査(一部上智大学から派遣されるコロンビア短期研修プログラム(ハベリアナ教皇庁立大学にて)参加学生引率のための出張)。 |
| 12月5日 | 論文 | 「コロンビアー階層を超えて平和を求める女性たち」(第6章)国本伊代編『ラテンアメリカ21世紀の社会と女性』、新評論、127-146ページ(ISBN: 9784794810243)。 |
| 12月13日～ 14日 | 出張・調査 | 科研プロジェクト(連帯経済)における国内事例調査として、滋賀県NPO「菜の花プロジェクトネットワーク」を訪問。 |
| 12月18日 | ワークショップ | 「連帯経済はオルタナティブな経済モデルとなり得るか?—ラテンアメリカからの提言」、コーディネータ(於 上智大学)。 |
| 1月30日 | 編著 | 「グローバル市場とフェアトレードの課題—南米コロンビアの伝統的金採取業の挑戦と挫折」、甲斐田万智子・佐竹眞明・長津一史・幡谷則子編『小さな民のグローバル学—共生の思想と実践をもとめて』上智大学出版、255-276ページ (ISBN: 9784324099445)。 |
| 3月15日 | パネルディスカッション | 「ラテンアメリカの女性たち」(出版発表会)、パネリスト(コロンビアの場合)として参加。(於 セルバンテス文化センター東京)。 |
| 3月31日 | エッセイ | 「ラテンアメリカ研究とJCAS」JCAS ニュースレター第20号、8ページ。 |

◆子安 昭子

| | | |
|--------|-------|---|
| 7月 | 論文 | 「ブラジルからみた米・キューバ国交正常化」『ブラジル特報』1627号、5ページ。 |
| 9月 | 論文 | “Unchanged Goals and Strategies but Limited Outcomes”, in Ryohei Konta, ed., <i>The Post-New Brazil</i> . IDE-JETRO(IDE Spot Survey 35), p.117-136. |
| 10月 | 論文 | 「日本・ブラジル関係史 120年—相互補完を超え『共に(juntos)』へ」『国際問題』645号、38-50ページ。 |
| 11月14日 | 学会討論者 | 「停滞するブラジル外交:新たな跳躍の条件は何か?」(自由論題報告セッション1)、ラテン・アメリカ政経学会第52回全国大会(於 横浜国立大学) |
| 12月30日 | 編著 | 「ブラジルの民主化—1945年と1985年—」(22-33ページ)、「外交—ポルトガル語圏の政治経済交流—」(90-95ページ)、「コーヒー—アロマでめぐるブラジル、アン |

| | | |
|-------|------|---|
| | | ゴラ、東ティモール」(96-101 ページ)、「ブラジルの企業—世界を視野に入れた戦略—」(102-109 ページ)、「ブラジリアン・リーダー—ヴァルガスからルセフまで—」(208-213 ページ)、「新中間層(C クラス)—安定した経済アクターになるか?—」(221-227 ページ)、「資源—食糧、エネルギー、鉱物の世界的な供給地ブラジル—」(370-376 ページ)上智大学外国語学部ポルトガル語学科編『ポルトガル語圏世界への50のとびら』、SUP 上智大学出版 (ISBN9784324100165)。 |
| 12月 | 書評 | 「高橋百合子編著『アカウントビリティ改革の政治学』、有斐閣、2015年」、『ラテン・アメリカ論集』、No.49、79-84 ページ。 |
| 1月16日 | 学会報告 | 「120年を迎えた日本ブラジル外交: 二国間(バイ)と多国間(マルティ) 関係からの一考察」、日本ラテンアメリカ学会東日本部会(於 上智大学)。 |

◆水谷 裕佳

| | | |
|----|------|--|
| 3月 | コメント | 「コメント: 米墨国境研究の視点から」、黒木英充・塩谷昌史・柳澤雅之編『境界・境域への挑戦と「地域」』、地域研究コンソーシアム、京都大学地域研究統合情報センター、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(JCAS Collaboration series No. 13)、58-60 ページ。 |
|----|------|--|

◆NEVES, Mauro

| | | |
|--------|------|---|
| 10月11日 | 学会発表 | “Globalização da corrupção no carnaval brasileiro”、日本ポルトガル・ブラジル学会15年度大会(於 東京外国語大学) |
| 12月30日 | 共著 | 「ブラジル映画—現実と想像の間で—」(53-59 ページ)、「ブラジル音楽—多様性と独創性—」(310-317 ページ)、「夢の工場—ブラジルのテレノベラー—」(338-343 ページ)、上智大学外国語学部ポルトガル語学科編『ポルトガル語圏世界への50のとびら』、SUP 上智大学出版 (ISBN9784324100165)。 |

◆田村 梨花

| | | |
|----------------|-----------------|---|
| 4月1日 ～3月31日 | 共同研究 (研究分担者) | 「学習者のウェルビーイングに資するノンフォーマル教育の国際比較研究」、文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(B))、研究課題番号: 10353377、2013/4/01～2016/3/31。 |
| 12月 | 研究ノート | 「ブラジルにおける包括的教育の概念と実践に関する一考察」、『ラテン・アメリカ論集』、No.49、62-78 ページ。 |
| 12月30日 | 共著 | 「NGO—ブラジルの事例」(110-115 ページ)、「家族・ジェンダー—女性の権利獲得の運動と新たな家族像」(116-123 ページ)、「アマゾンと環境—開発の軌跡と環境保護のための挑戦」(228-236 ページ)、「インディオ—先住民の暮らしと文化」(237-243 ページ)、「開発—経済開発主義から社会的公正へ」(377-383 ページ)、「ブラジルにおける教育—教育開発の軌跡と民衆教育の実践から」(384-397 ページ)、「ファヴェーラー都市化と新たなコミュニティの創生」(409-415 ページ)、上智大学外国語学部ポルトガル語学科編『ポルトガル語圏世界への50のとびら』SUP 上智大学出版 (ISBN9784324100165)。 |
| 3月 | 論文 | 「ブラジルにおける学校と地域の連携の考察—NGO の役割を中心に—」、『ノンフォーマル教育に関する国際比較研究』文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(B)海外学術)研究分担者「学習者のウェルビーイングに資するノンフォーマル教育の国際比較研究」(研究代表者: 丸山英樹、研究課題番号: 25301053) 報告書、2016年、75-85 ページ。 |

◆谷 洋之

| | | |
|----------------|----|---|
| 2月21日 ～3月2日 | 出張 | メキシコ。「大学の世界展開力強化事業(中南米)」提携校(グアナフアト大学、メキシコ自治工科大学(ITAM)、イベロアメリカ大学、メキシコ西部工科大学(ITESO)) 訪問。学生交換に関する打ち合わせおよび施設見学。 |
|----------------|----|---|

| | | |
|-----------------|------|------------------------------------|
| 3月12日～ 3月23日 | 現地調査 | パナマ。外国語学部学内共同研究「アジア太平洋時代のラテンアメリカ」。 |
|-----------------|------|------------------------------------|

◆TOIDA, Helena

| | | |
|--------|------|---|
| 11月17日 | 編集委員 | 『プログレッシブ ポルトガル語辞典』、小学館。 |
| 12月30日 | 共著 | 「ブラジル日本移民小史—『勝ち組』『負け組』とは何か—」(214-220 ページ)、「ブラジルの児童文学—豊かな自然と多様な民族を描く—」(272-278 ページ)、「クロニカーブラジル文学が生んだ独自のジャンル—」(179-291 ページ)、「ブラジルの俳句と haikai—日本人移民の文化遺産—」(292-302 ページ)、「ブラジルの演劇—被抑圧者の解放を目指して—」(303-309 ページ)、上智大学外国語学部ポルトガル語学科編『ポルトガル語圏世界への 50 のとびら』、SUP 上智大学出版 (ISBN9784324100165)。 |

◆内村 俊太

| | | |
|-------|--------|--|
| 6月24日 | 博士学位論文 | 『16 世紀後半のスペイン王国における歴史編纂』東京外国語大学博士学位論文 (博甲第 197 号)。 |
| 3月10日 | 論文 | 「16 世紀スペインにおける修史事業」『上智大学外国語学部紀要』50 号、201-226 ページ。 |

◆矢澤 達宏

| | | |
|----------------|-----------------|---|
| 4月1日 ～3月31日 | 共同研究 (研究分担者) | 「変動期アフリカ系社会におけるメディアリテラシーと公共圏の展望」、文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(C)(一般))、研究課題番号:15K03055、2015/4/01～2018/3/31(予定)。 |
| 12月30日 | 共著 | 「黒い南大西洋—西洋近代の陰画を超えて—」(9-21 ページ)、「カポエイラ—既成の枠におさまらせないアフロ・ブラジル文化—」(251-262 ページ)、「ブラジルの多民族社会—『人種民主主義の国』はいま—」(398-408 ページ) 上智大学外国語学部ポルトガル語学科編『ポルトガル語圏世界への 50 のとびら』、SUP 上智大学出版 (ISBN9784324100165)。 |
| 2月23日 ～3月9日 | 現地調査 | ブラジル(サンパウロ・サルヴァドール・リオデジャネイロ)。「変動期アフリカ系社会におけるメディアリテラシーと公共圏の展望」文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(C)(一般))、研究課題番号:15K03055 による調査。 |

◆吉川 恵美子

| | | |
|------------------|------|--|
| 10月1日～ 12月2日 | 現地調査 | 在外研究によるメキシコ現地調査。佐野碩関連資料収集。 |
| 10月14日 | 講演 | 「佐野碩研究の経緯について」。CITRU/CENART 主催(於 CITRU)。 |
| 10月29日～ 11月5日 | 現地調査 | 在外研究によるペルー現地調査。演劇関連資料収集および関係者との懇談。 |
| 11月24日 | 対談 | Coloquio con el dramaturgo Enrique Olmos de Ita sobre su obra <i>Hikikomori 2.0. Batalla perdida contra uno mismo</i> . Patrocinado por Editorial Elementum, en el Instituto de Artes, Universidad Autónoma del Estado de Hidalgo. |
| 12月30日 | 共著 | 「佐野碩 1939-1966 メキシコとコロンビアの演劇に残した足跡」(pp. 212-241)、「〈役を生きる演技〉の俳優訓練における三つの主要な環」(翻訳、pp.672-745)、『佐野碩 人と仕事 1905-1966』、藤原書店(ISBN 9784865780550)。 |
| 1月9日 | 対談 | メキシコの劇作家 David Olguín と「メキシコ演劇の現在」について対談。主催:日本演出者協会(於 芸能花伝舎)。 |
| 1月23日 | 発表 | 桑野塾第 36 回「佐野碩の世界」にて、「メキシコの佐野碩研究—現状とこれからの課題」、桑野塾主催(於 早稲田大学)。 |

| | | |
|----------------|-------|--|
| 2月17日 | 発表 | 「2015 年秋、メキシコとペルー演劇見聞報告」を発表。主催:「バルバ・グロトフスキー研究会」(於 シアターX)。 |
| 2月23日～ 3月3日 | 企画・運営 | Violeta Luna ワークショップ“Body in Action:Paths towards a Personal Cartography”および対談イベント「社会問題とパフォーマンス・アート—行動する身体から見つめる社会」(於 カフェ・ラバンデリア)の企画・運営。 |
| 3月27日 | 記事 | 「メキシコ演劇見聞報告—ペルー演劇の小報告を添えて」、『国際演劇年鑑 2016 世界の舞台芸術を知る』、国際演劇協会日本センター、103-111 ページ。 |

上智大学イペロアメリカ研究所

〒102-8554
東京都千代田区紀尾井町 7-1

Tel. 03-3238-3530
Fax. 03-3238-3229
E-mail: ibero@sophia.ac.jp
<http://dept.sophia.ac.jp/is/ibero>

所長 幡谷則子
副所長 子安昭子
正所員 **Nina HASEGAWA**
岸川毅
水谷裕佳
Mauro NEVES
田村梨花
谷洋之
Helena TOIDA
内村俊太
矢澤達弘
吉川恵美子
名誉所員 **Jaime FERNÁNDEZ**
林屋永吉
堀坂浩太郎
Oswaldo HURTADO
今井圭子
小林一宏
三田千代子
水野一
中川和彦
清水憲男
高山智博
